

横芝町の人口と世帯

< 11 月 30 日 現在 >

| | |
|-------|----------|
| 人 口 | 12,404 人 |
| 男 | 5,928 人 |
| 女 | 6,476 人 |
| 世 帯 数 | 2,921 戸 |



広報

横芝

発行所
山武郡横芝町横芝636番地
横芝町役場
電話 04798-2-1111(内)
郵便番号 289-17

新春の御挨拶

横芝町長 椎名 登



町民の皆さんには、明るい希望にみちた昭和四十六年の新春をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。新東京国際空港の建設にともない、国や県でも、この北総地帯の開発に力を入れてまいりました。当町では、国や県の施策に呼応して、海岸地帯及び内陸地帯の開発を立案

中でありました。私は、産業を推進振興して、町民所得の増進をはかることを新年の最大の目標といたします。昭和四十三年度から始った横芝町総合三ヶ年計画による道路舗装、小中学校のプール建設、青年館、公民館、保育所、町営住宅等の建設も町民各位の深い御理解と御支援に

よって、ほぼ予定通り進捗いたしましたことを深く感謝する次第であります。特に、町道の舗装につきましては、主要道路の約六十八パーセントの完成を見ました。残る四十パーセントについても新年度に極力進めて行きたい所存であります。また、四十五年度に於てこの山武地区は自治省から広域市町村圏としての指定を受けて、着々その準備に取りかかっており現在まで町単独で行なわれて来た広域的な事業も、逐次山武郡市広域市町村圏の共同事業として取上げられて行くことになりま

す。横芝町に於ては、取敢えずこの圏内に於ける関連道路、老人ホーム等をこの計画に入れて広域行政を推進し、町民の負担を少しでも軽くして福祉増進に努めたいと思っております。

町民の皆様には、益々御壮健御多幸に過されませうお祈りしますと共に、町政の執行につきましても、引き続き全幅の御協力をお願いしまして新春の御挨拶といたします。



謹 賀 新 年

横芝町議会議員

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|------|-------|------|------|-------|------|-----|------|------|------|------|-----|-------|------|------|------|----|-----|
| 池内祐蔵 | 滝田広朗 | 伊野敏郎 | 水野忠一郎 | 伊藤一郎 | 土屋正一 | 渡辺喜久雄 | 鈴木木繁 | 平山清 | 藤城顕義 | 斉藤元一 | 長野康己 | 高橋正昇 | 河井昇 | 八角喜久夫 | 市原茂雄 | 伊東重雄 | 伊藤右仲 | 議員 | 副議長 |
|------|------|------|-------|------|------|-------|------|-----|------|------|------|------|-----|-------|------|------|------|----|-----|

年頭のことば

横芝町議会議長 伊藤 右伸



昭和四十六年の新年を迎え町民各位に謹んで御祝詞申し上げます。

年月流水の如しとか、町村合併より早くも十五年の歳月を送り、其の間四回の議会議員選挙が行われまして、本年四月私共も任期満了となり改選せられることとなりましたが、町民の皆様のお協力、御援助により大過なく努め得ましたことを厚く感謝申し上げます。

この間、わが横芝町は積極的な公共投資により、道路網の整備をはじめ、公民館、学校、保育所等公共施設の建設、農業近代化の先がけとして、農業構造改善事業やカントリーエレベーターの導入等々……他町村にはみられない充実ぶりをみせ、空港建設の権首と共に、にわかには活気を呈して来た地域開発の波ともあわせ、豊かな町づくりは着々と進められております。

この様な輝かしき発展途上にある横芝町議会議員として私共は、この上もなき名譽であると同時に責任の重大さを痛感しております。それ故に議会の運営に当っては私的感情に支配されることなく、あくまでも是非々々をモットーとし、町勢の発展と町民の福祉増進に沿った行政が執行されるよう努力致しております。

私共の使命達成のために、町民皆様の御理解と御支援なくしてはならないのであります。何卒本年も倍旧の御援助御協力を切に御願ひ申し上げる次第であります。

史料収集にご協力を 町史編さん 委員会のお願ひ

横芝町史編さん事業は、昨年六月発足し、いらい半年が経過しました。この間各委員の犠牲的なお骨折りによって、第一段階の史料収集がほぼ順調に進んでいます。と申しますのは、大総地区において各部落の皆様が積極的に御協力

下さったのでひと通り出そろったのです。これに続いて横芝地区、上埴地区の皆様にお援助をお願いすることになりますので、よろしく御協力を御願ひする次第です。前々から申し上げているように、古代から現代に亘る長い年月の政治、経済、社会と広い各層にわたる推移と変遷の実態記録や絵画、写真などあらゆるものが一応史料になります。この中から横芝町の特色を裏づける実証を求め、訳ですが、明治・大正・昭和初期にかけての史料さえないかなか集め得ない実状ですので、大変な仕事であり、重要なことなのです。一般町民皆様の強い御援助を偏に御願ひする次第です。

さあ選挙の年です！

町民の皆様さん、あけましておめでとうございます。本年は四月の知事、県議会議員を皮切りに、町議会議員、参議院議員、農業委員会委員と連続的に選挙が予定され、あらゆる意味で意義深い年となりそうです。

委員会のお願ひ

横芝町選挙管理委員会
横芝町明るく正しい選挙推進協議会



公民館だより

新生活運動を 推進しましょう

公民館では、新生活運動の実践目標としてつぎの三点を取上げて運動の推進を図っておりますので、皆様方の御協力を御願ひいたします。

- 一、時間を正しく守る運動

昔から「時は金なり」といふ格言がありますが、最近のようになり非常に忙しい社会環境の中におりますと、正にそのとおりとつくづくと思えます。しかし、時間を正しく守るといふことは簡単に出来ず、うでなかなか出来ないもので

わが横芝町にも残念ながら、昔から横芝時間と称し、会議などが三十分から一時間以上もおくれて開かれるのが慣習になっております。

この良くない慣習をみんなの協力によって打破し、正しい時間の町としましょう。

- 二、みんなに親切にする運動

誰にでもできる小さな親切をみんな揃ってしましょう。老人や子供に席をゆずる、こ

公民館では、この運動の一環として「小さな親切運動の会」をつくりました。現在は会員三百名ほどですが、これから多くの皆さんに参加していただき、町ぐるみの親切運動を展開したいと思っておりますので、ご協力をお願いいたします。

- 三、清潔な町をつくる運動

最近町内を歩いて見ますと林の中や道端など各所にゴミが捨てられているのが見かけられます。これは、横芝町に限ったことではありません。旅行などをしますと各所で見



講座紹介

◎民謡教室

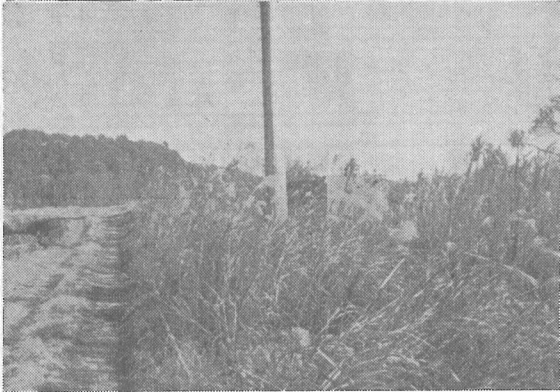
成人学校の各講座の中で、最もがわらから勉強をしているのが民謡教室でしょう。講師は印旛村民謡同好会の会長さん岡田覚先生をお願いして毎週水曜日に下は二十才の青年から上は七十才のお年寄りまでが一括になり思い切り大きな声を張りあげて勉強しています。すでに十曲程マスターし、十二月十一日には中央公民館で開催された、山武郡市社会教育振興大会で二百余名の参加者を前に堂々と、学習の成果を披露し万場の喝采をあげました。また十二月二十日に行なわれた第一回成人学校の閉講式でも発表をさせていただきました。第一回民謡教室の卒業生はこれからは民謡同好会を結成して一層民謡の勉強をして行きたいと同張り切っております。

十年一昔(その十二)

一両国渡しと焼却場跡界限

古川から於幾に通ずる道路が両国新田に掛ろうとする手前、栗山川堤の中を望見すると、栗山川堤の裾に一本の煙突が目につきます。その足下の枯草の中には、煉瓦造りの炉も見えていますが今は使っていないらしくてここ数年來煙突の煙が全く見えません。

これは、横芝町塵芥焼却場の跡なのです。いまから約十年前、ようやく物資が豊かになり、一寸と人家から離れた空地や道路の端等には、廃品やごみの無断投棄が続出し、



いくら禁止の標識を建てても無駄でした。そのうちに「何とかして懲らさない」「町としても考えるべきだ」という話を持ち上り町議会でも議題として採択し町営の塵芥焼却場設置が決定したのでした。しかし、施設が施設であるだけにその場所の選定についての苦労は大変でした。当時、町議会の厚生常任委員として終始用地折衝等に尽力されたという大沢丈夫さん(古川)は、その当時の模様を「始めは、栗山の東町寄りに候補地を挙

げたのですが人家が近すぎるというので古川の砂取場に定めようとしたのです。ところがここは一二六号新国道に掛るので駄目になってしまいました。今度は東部土地改良一号用水路下辺りを物色したのですがこれも中止になりました。その中に古川地先に格好の場所があるというので調べて見ますと思いがけない近くまで住宅が建て込んで来ていたりして仲々思う様に行かず一時は中台の山の中という話も出た程でした。ようやく両国渡しというところに焦点を絞りましたが、建設用地は両国新田でも、そこ迄の路は古川になっておりました。この路がまた昔から古川地域には由緒ある路と考えられていたものから『ゴミ焼却場跡にするのは忍びない』という住民感情とでもいうのでしようか何かが堪えられないものもあつたようでも皆ささんが町の為にこのことで全面的に協力したいのでここに落ち付いたので

「そんな風に話しております。そういえば焼却炉が出来たばかりの頃、焼却炉に往く路が二つに岐れる所に伊勢詣りの記念碑の様な道標が建っていました。焼却炉の方面側には『両ごく渡し』、八日市場でうし(銚子)道また両国新田側には『さか田しば山なり田道』と、漢字と仮名を交えた文字で刻んであったのを覚えておきます。この道標は、本欄で古川の地蔵様として紹介したところのある鈴木昇さん(古川)が保存しているという事です。何れにしても、何れも何れも重なる誕生した塵芥焼却場だった訳ですが、日を追って激増する塵芥量は消化しきれず、遂に昭和三十七年以來四ヶ年間の操業を停止し、昭和四十一年山武郡環境衛生組合にパトンタツチを譲渡したのです。閉鎖後既に四年—今でもここに塵芥を捨てに来る人があり、近くの田畑が迷惑をしているようです。写真、上は四十六年に焼却炉の基礎工事を始めた時のもので、大沢さんへ向って右から二人目、他見慣れた人の姿も見えます。左下の枠内は完成時の焼却炉跡で、背景になっている下総の山の姿も足下の栗山川の流れも、十年前の姿と殆んど変わらないと思いが、伸びきった枯草の中に自分の存在を誇示する様に白い姿を見せようとする煙突には過去十年の横芝町の物資豊乏の歴史が秘められているのです。

謹賀新年

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|-------|-------|-------|-------|------------|-------|--------|-------|----------|-------|------------|------|----------|-------|------|-------|----------|------|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|-------|------|-------|---------|-------|
| 横芝町教育委員会 | | | | | 横芝町選挙管理委員会 | | | | | 横芝町役場 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 委員長 | 石橋 瑞夫 | 委員 | 椎名 弥一 | 越川 藤一 | 伊藤 祥嗣 | 渡辺 祥嗣 | 中央公民館長 | 田中 光 | 給食センター所長 | 小沢 春 | 横芝町選挙管理委員長 | 早川 恂 | 委員長職務代理者 | 伊藤 壮男 | 委員 | 嘉瀬 貞男 | 横芝町農業委員会 | 会長 | 伊藤 博 | 副会長 | 桜井 敏雄 | 委員 | 川島 襄次 | 市原 文夫 | 八角喜久夫 | | | | | | |
| 大沢 勝也 | 伊藤 寛 | 怒賀 源也 | 鈴木 辰夫 | 伊藤 武夫 | 林 一広 | 滝田 栄 | 斎藤 一元 | 鈴木 光儀 | 伊藤 梅 | 若梅 光儀 | 横芝町役場 | 町長 | 椎名 登 | 助役 | 真行 寺 | 収入役 | 土屋 直勝 | 総務課長 | 小高 猶次 | 企画課長 | 小高 猶次 | 建設課長 | 川島 忠茂 | 税務課長 | 石井 富雄 | 産業課長 | 佐瀬 哲司 | 住民課長 | 押尾 光雄 | 老人ホーム院長 | 本間 重寿 |

伊藤君全国大会出場

青年の主張で

私の青春

伊藤 一男

NHKの主催による青年の主張全国コンクール関東甲信越大会が十二月六日東京のNHK放送センターで開かれまし。この大会で千葉県を代表し、横芝町の伊藤一男君(屋形荒場)が参加し、最優秀賞という好成绩で入賞しました。また、一月十五日に東京内幸町のNHK会館で行なわれる全国大会に参加が決定しております。

この十年、僕の青春は郷土の歴史調査で暮れました。中学二年の時、社会クラブの仲間と芝山の埴輪博物館までサイクリングに出かけたことがあります。その帰り道、みごなな坂田城の城山に登り、ごはんをとりたりしているうちに、雑草の中によく見ると堀の跡や土塁があることに気が付いたのです。歴史に興味を持ち始めていた僕には大きな驚きでした。「あの整然とした埴輪館にくらべ、なんとという荒れようだ。これではいけない」と思ったのです。その時から僕と城山とのつきあいが始まりました。最初は城跡近くの家々で伝説を聞いたたり、城山を詳しく案内してもらいました。そこで気のついたことは、みんな城山を誇りにしていることでした。時には古文書を見せられることもありましたが、全然読めません。この悔しさが高校生となった時、本格的に歴史を学習するバネとなったのです。古文書の読み方や日本史の学習すると同時に、城山の実測や文書捜しに熱中しました。三年間の日曜はほとんどつぶして郷土史と取り組んだのです。高校を卒業し再び城山へ登った時、僕ははっと息をのみました。中学生のとき見た城山の姿は一変し、その頂上には梅林が造成され、幅広い農道がはしり、ブルドーザーで古墳はのされ、土塁も一部崩されていきました。中学生のとき「これではいけない」と思ったことが現実となっ

て迫ってきたのです。そして再び訪問した家々では、母屋の建替えなどで古文書を燃したりしていました。そこで僕は五年間の成果を町の広報に連載してみたのです。変化は確実にありました。町内には「郷土の歴史を知ろう」という雰囲気が高まり、史談会が結成され、その翌年には町史の編さんが企画されました。多くの問題を解決しながら、今年で三年目になります。工

業化、都市化の中で歴史的な遺産がその姿を消している現在、みんなに正しい郷土の歴史を知ってほしい。このことが僕を役場の町史編さん室に臨時就職させる動機となりました。毎日ほこりだらけで、史料の整理に取り組んでいます。じみだけれど張りあいのある毎日です。僕の仕事は農業です。随分と悩みました。身を切られる毎日の中から僕は、歴史調査の仕事を選び、ったのです。でも冬がさり、

春になれば再び僕は野良に帰ってゆきます。空港建設がすみ、僕の町も工業地帯として開発されようとしています。こうした地域の現状の中では、歴史公園の具体化など地域ぐるみの保存でなければ遺産が守ってゆけない現状です。将来は農業生産に助けみながら、ぜひそうした仕事にも力を尽くしたいと思えます。今はそのための基礎づくりです。僕は郷土の歴史の発掘と、その保護に青春の情熱をぶつけます。

利子所得の課税方法が

かわりました

私たちは、子供の入学、結婚、また家を建てるなど必要とされたお金が必要となるときに備えて預金をしたり、公債や社債を買ったりして、預金や公債、社債の利子などは、これまで一五パーセントの所得税が源泉徴収されるだけで、他の所得と分離して課税されてきましたが、今年から課税の方法が変わり、概要は次のとおりです。

精算してください。(2)普通預金の利子などは、原則として総合課税になります。確定申告はしなくともよいことになっていきます。したがって今までの十五パーセントの源泉分離課税と同じことになりました。なお、小額預金の利子所得の非課税は従来どおりです。



横芝句会十一月作品抄

冬の夜のデンと据いたる壺の影
土屋 栗水
母の味切大根のほろ苦く
石川 奇水
みちのくの温泉街は柳の里な
みちのくの冬の夜話し悲なり
りき
けり
藤代 ゆう

軒零音の遅速や夜半の冬
高埜 孝子
コーヒーの温気からみ合う冬の夜
渡辺きよこ
千し大根に陽当り淡し軒ひさし

新春雑詠

初暦古都名園を扉とす
門松は枝むにして農守る
石川 奇水
じんの前唄迫ら初笑ひ
酒酌に侍し娘が華やかに初笑ひ
藤代 ゆう

公舎の無き世なれし層蘇を酌む
娘の背文われにまさりり初鏡

建設のあゆみ

12月~1月

完成した事業

- ① 関場青年館新築工事 79.2㎡
- ② 町営分譲地宅地造成工事 37区画
- ③ 消防団本部器庫新築工事 53.74㎡

一月着工及び工事中の事業

- ① 鳥喰沼地先道路舗装工事 482m
- ② 本町地先排水路流未工事 122.6m
- ③ 宮前三本松線道路及水路改修工事 474.5m
- ④ 町営住宅新築工事 10戸
- ⑤ 県営住宅新築工事 30戸
- ⑥ 消防署分署新築工事 411.9㎡
- ⑦ 上町青年館新築工事 82.6㎡
- ⑧ 横小増築工事 923.2㎡

(注)総合課税をした場合は、利